

PSQ認証制度の概要と クラウド対応について



ISO/IEC 25051:2006

2014年11月20日

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)

専務理事 前川 徹

本日の内容

- CSAJの紹介
- PSQ認証制度の概要
- PSQ認証取得状況
- PSQ認証制度の今後



ISO/IEC 25051:2006

CSAJのプロフィール

- 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)
- パッケージソフトウェアベンダーを中心とした団体
- 1982年5月にパソコンソフトウェア関連会社22社で設立
- 1986年2月に通商産業省から社団法人として認可
- 2012年4月に一般社団法人へ移行
- 会員数:410社(正会員:352社) 2014年5月現在

会長:荻原 紀男(おぎわら のりお)
株式会社豆蔵ホールディングス
代表取締役社長



パッケージソフトウェア品質認証制度 (PSQ認証制度)

2013年6月12日 制度運営開始

- ◆ 国際標準に準拠した第三者適合性評価認証制度
(ISO/IEC 25051及びJIS X25051に準拠)
- ◆ IPAの「ソフトウェア品質説明のための
制度ガイドライン」に沿った認証制度
- ◆ パッケージソフトとしては日本初



ISO/IEC 25051:2006

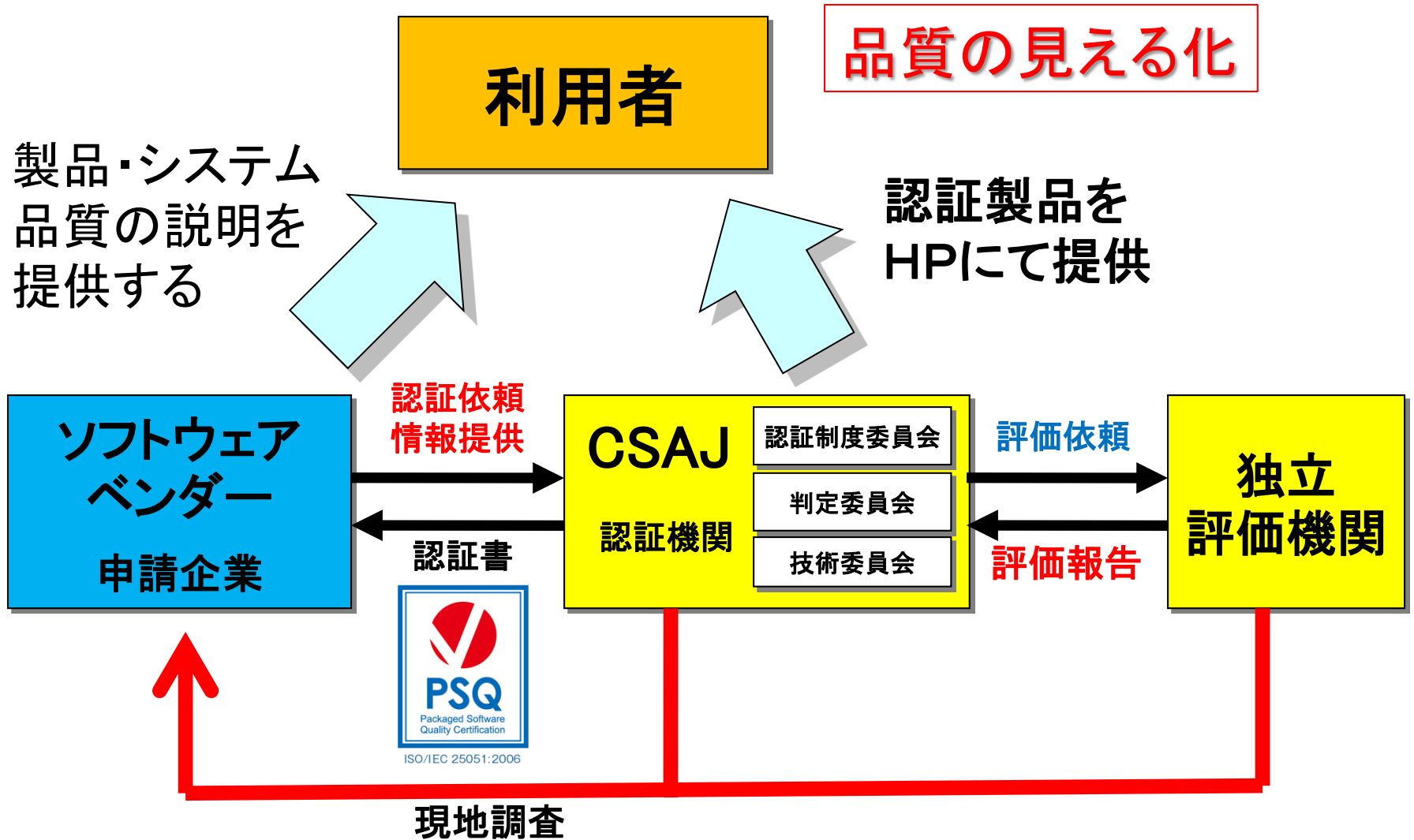
PSQ認証制度の目的

- **パッケージソフトに関する品質説明力強化**
 - ⇒ 利用者の安心感の向上
 - ⇒ パッケージソフトの利用拡大
- **国際市場における日本製品の品質への正当な評価の確立**
 - ⇒ 国際競争力の維持・強化
 - ⇒ 海外市場の開拓／パッケージソフトの輸出拡大
- **パッケージソフトの本質的な品質向上**



ISO/IEC 25051:2006

PSQ認証制度の仕組み



評価の基本的考え方

- 評価対象は製品説明、利用者用文書、試験文書
認証取得のために、パッケージソフトウェアそのものを
実機で動かし、それを評価する(テストする) …という
ことはしない
- 開発プロセスは評価対象としない
仕様書や開発プロセス、中間成果物について
評価する(レビューする) …ということはない



ISO/IEC 25051:2006

評価の基準(1)



■ 製品説明の評価基準

- 入手／参照のしやすさ、利用のしやすさ
- 利用者の要求に対するソフトウェアの整合性を判断できる情報を含んでいるか
- 製品の特徴、機能、性能、制約などの情報が明確かつ正確に記載されているか

■ 利用者用文書の評価基準

- 利用する上で必要な情報が正しく記載されているか
- 製品説明と矛盾や不一致がないか
- 想定している利用者にとって理解しやすいか

評価の基準(2)

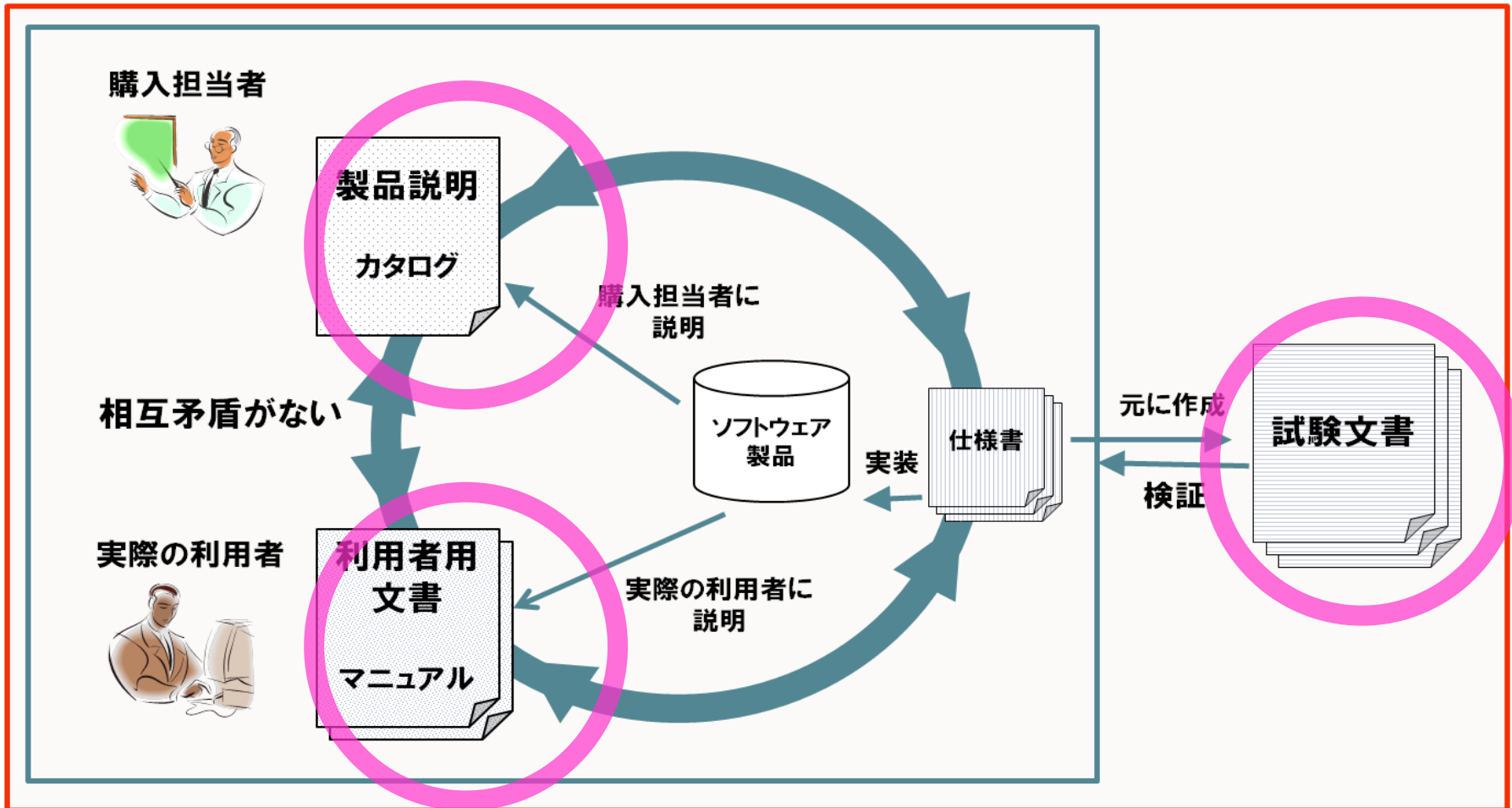


ISO/IEC 25051:2006

■ 試験文書の評価基準

- 利用する上製品説明や利用者用文書に記載されている製品の機能が正しく実装されていることが、試験によって確認されているか
- 製品の性能や使いやすさなどが試験によって確認されているか
- 試験を実施した結果や合否判定が具体的かつ明確に記載されているか

評価対象ドキュメント



PSQ認証取得状況

PSQ認証製品一覧(2014年11月現在)

申請者	製品名
グループウェア	
サイボウズ株式会社	サイボウズ ガルーン
設計計算	
株式会社フォーラムエイト	土留め工の性能設計計算(弾塑性解析II+)
株式会社フォーラムエイト	土留め工の性能設計計算(弾塑性解析II+) Ver2.0
株式会社フォーラムエイト	置換基礎の設計計算 Ver. 2
会計系	
株式会社オービックビジネスコンサルタント	勘定奉行V ERP8 (勘定奉行i8)
株式会社OSK	SMILE BS 2nd Edition 会計
ピー・シー・エー株式会社	PCA会計X
人事給与系	
株式会社オービックビジネスコンサルタント	人事奉行V ERP8(人事奉行i8)
株式会社OSK	SMILE BS 2nd Edition 人事給与
ピー・シー・エー株式会社	PCA給与X

PSQ認証取得状況

PSQ認証製品一覧(2014年11月現在)

申請者	製品名
販売管理系	
東京システムハウス株式会社	iOptMICS(アイオプトミクス)
株式会社OSK	SMILE BS 2nd Edition 販売
日本事務器株式会社	CORE Plus NEO 通販
日本ナレッジ株式会社	PowerSteel
各種ビジネスアプリケーション	
日本事務器株式会社	総合健康管理システム CARNAS
ネクストウェア株式会社	Speedy Call
株式会社インテリジェント ウェイブ	VeTracer
株式会社アールワークス	ASTEC-X

PSQ認証制度の今後

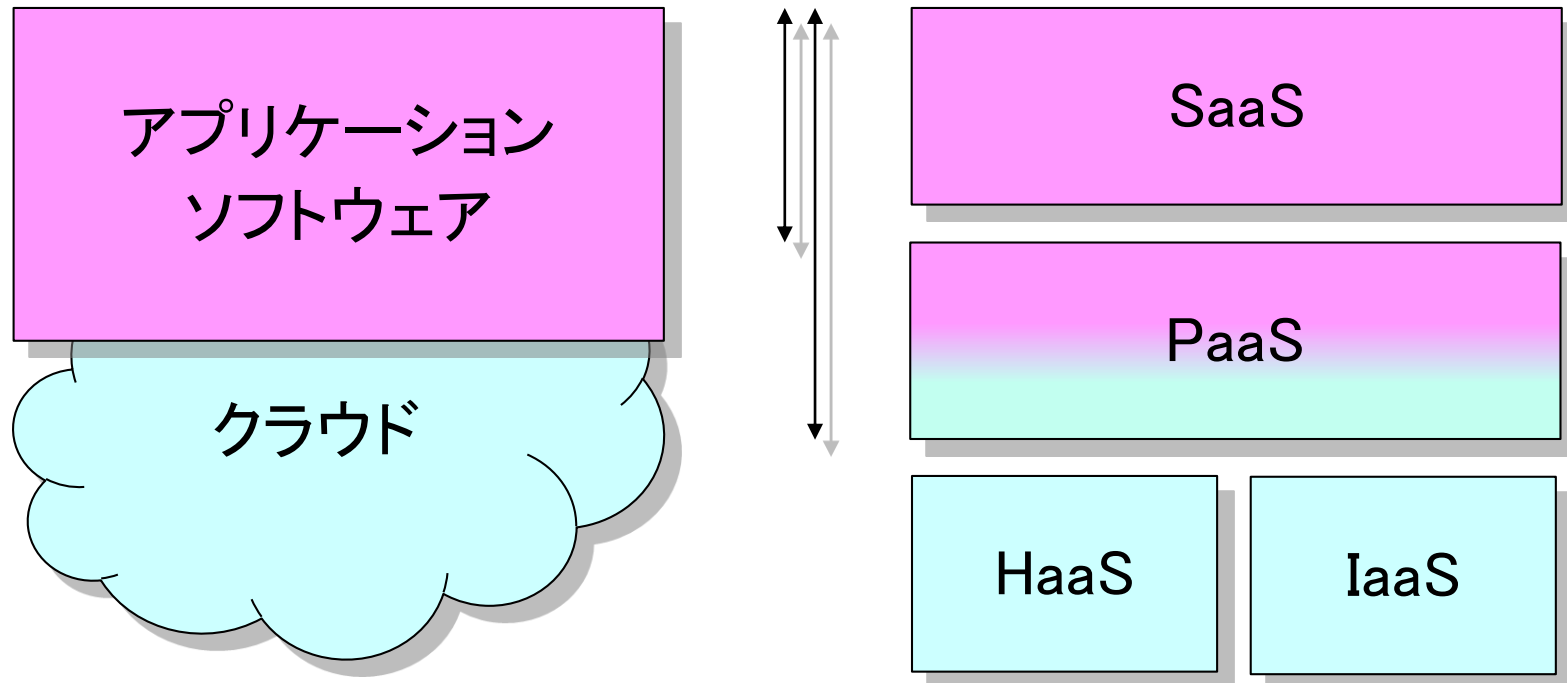


ISO/IEC 25051:2006

■ ISO/IEC 25051:2014への対応

- 所有することを前提としたCOTS (Commercial Off The Shelf) ソフトウェア製品だけでなく、クラウドコンピューティングを通じて利用するソフトウェアが加わり、**RUSP (Ready to Use Software Product)**と呼ばれるようになりました。
- クラウドを意識して国際規格の品質特性が変わりました。
 - －「セキュリティ」と「互換性」が重要視されています。
 - －「利用時の品質」が強化されています。

対象となるクラウド



クラウドの定義(IT用語辞典 e-Wordsより)

ソフトウェアやハードウェアの利用権などをネットワーク越しにサービスとして利用者に提供する方式を「クラウドコンピューティング」(cloud computing)と呼び、データセンターや、その中で運用されているサーバ群のことをクラウド(cloud)という。

SaaS (Software as a Service)	アプリケーション (ソフトウェア) をサービスとして提供する
PaaS (Platform as a Service)	アプリケーションを稼働させるための基盤 (プラットフォーム) をサービスとして提供する
IaaS (Infrastructure as a Service)	サーバー、CPU、ストレージなどのインフラをサービスとして提供する

出典：総務省・スマートクラウド研究会報告書

PSQ認証制度の今後



ISO/IEC 25051:2006

■ ISO/IEC 25051:2014への対応

- 改正規格に対応した新評価基準を策定し、10月よりクラウドアプリケーションの評価トライアルを開始しました。
- 年内にはクラウドアプリケーションとして最初の認証製品を発表する予定です。

ご清聴ありがとうございました。



ISO/IEC 25051:2006